

外国人留学生アンケート集計

2019年2月13日

(2019年2月2日実施：[ASEAN・欧米限定] 業界研究フェア / [理系限定] 業界研究フェア)

株式会社ベイングローバル

■ 概要

2019年2月2日（土）に開催した留学生向け就職イベントにおける参加学生へのアンケート調査の報告。
（イベント名：[ASEAN・欧米限定] 業界研究フェア / [理系限定] 業界研究フェア）
記述式を極力少なくし、選択式を採用することで回答の信頼性を保つようにした。

就職フェア参加者数：191名

アンケート回答者数：100

アンケート回答率：約52%

※回答されたアンケートの中には、一部の設問に関して未記入のものも含む

※未回答があるため、各項目の数値や割合の合計が一致しない場合がある

※専門生や既卒者も含む

※パーセンテージは、回答者数100名を分母とし、小数点以下は切り捨てとする

■ アンケートの目的

この時期の学生動向の把握および翌年以降への市場データの蓄積

■ 質問項目

大学名、国籍、文理、日本語能力資格の取得有無、自身の日本語レベル

Q1 興味のある業界

Q2 興味のある職種

Q3 本エントリー社数

Q4 今一番進んでいる選考フェーズ

Q5 就活の情報収集や相談先

Q6 希望する企業の規模

Q7 上記Q6の理由（記述式）

Q8 企業規模の判断基準

Q9 日本で何年働きたいか

Q10 将来のキャリアイメージ（転職に関して）

<回答内訳>

【文理】文系20・理系80

外国人留学生アンケート集計

■回答者属性について

出身国	文系	理系	総計
中国	0	43	43
ベトナム	4	7	11
ネパール	10	0	10
インドネシア	0	9	9
韓国	0	3	3
カンボジア	0	2	2
コートジボワール	0	2	2
マレーシア	0	2	2
サウジアラビア	0	2	2
タイ	1	1	2
バングラデシュ	1	1	2
インド	0	1	1
フランス	0	1	1
コロンビア	0	1	1
ドミニカ共和国	0	1	1
台湾	0	1	1
中国（香港）	0	1	1
タジキスタン	0	1	1
オランダ	1	0	1
イタリア	1	0	1
グアテマラ	1	0	1
ドイツ	1	0	1
不明	0	1	1
	20	80	100

【参加対象者】

・2019年4月～2020年3月に大学・大学院を卒業予定の外国人留学生
（一部既卒者、専門学校・日本語学校在籍者を含む）

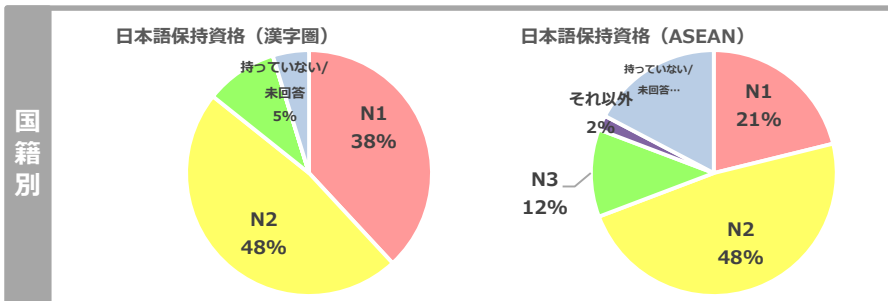
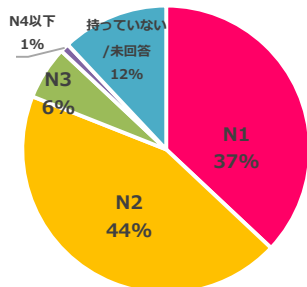
- ・ [ASEAN・欧米限定] 業界研究フェア：ASEAN・欧米・欧州等出身者（文理不問）
- ・ [理系限定] 業界研究フェア：理系（国籍不問）
→そのため、「文系」カテゴリに属するのはASEAN・欧米・欧州等出身者のみ
（「文系」に漢字圏（中国・韓国・台湾・香港）は含まれない）

■回答者の日本語能力について

	ネイティブレベル			ビジネスレベル			日常会話			カタコト			未記入			計	%
	文系	理系	計	文系	理系	計	文系	理系	計	文系	理系	計	文系	理系	計		
N1	1	3	4	2	18	20	0	11	11	0	0	0	0	2	2	37	37.0%
N2	0	3	3	5	7	12	3	21	24	0	0	0	1	4	5	44	44.0%
N3	0	1	1	1	0	1	1	3	4	0	0	0	0	0	0	6	6.0%
それ以外	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1.0%
持っていない/未回答	0	0	0	3	0	3	1	3	4	0	2	2	2	1	3	12	12.0%
	1	7	8	11	25	36	5	39	44	0	2	2	3	7	10	100	

日本語の保持資格とともに、自身の日本語レベルについて「ネイティブレベル」「ビジネスレベル」「日常会話」「カタコト」の中から自己申告で選択させた。その結果、ビジネスレベル=N1、日常会話=N2の認識が伺える。ただし理系ではN1保持者の約1/3が「日常会話」を選択。日本語の自信のなさの表れともいえる。逆に、N2レベル以下の回答者のうち1/3が「ネイティブ」「ビジネス」を選択している場合もあり、自己申告と検定結果に乖離がある。

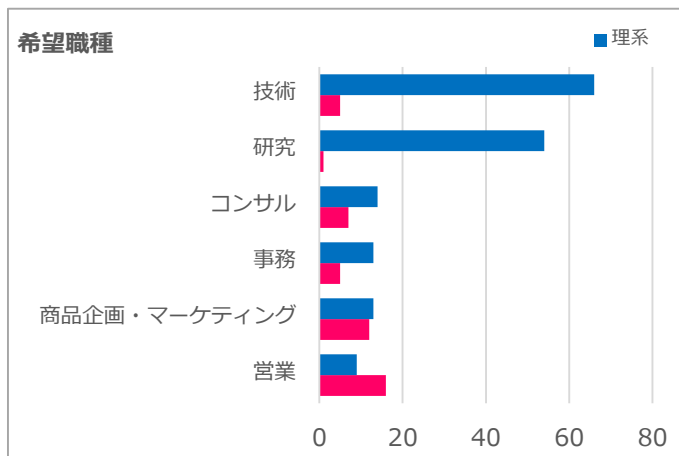
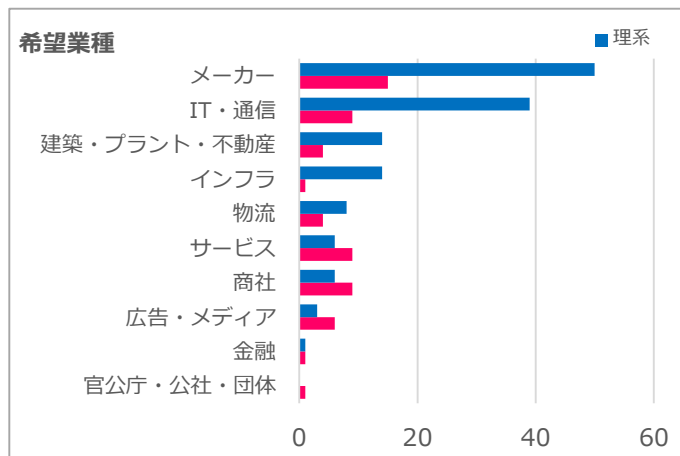
日本語保持資格（全体）



日本語の保持資格を国籍別で比較した。
N1の保持率は漢字圏のほうが高く、漢字圏以外の留学生にとって日本語のハードルの高さが伺える。

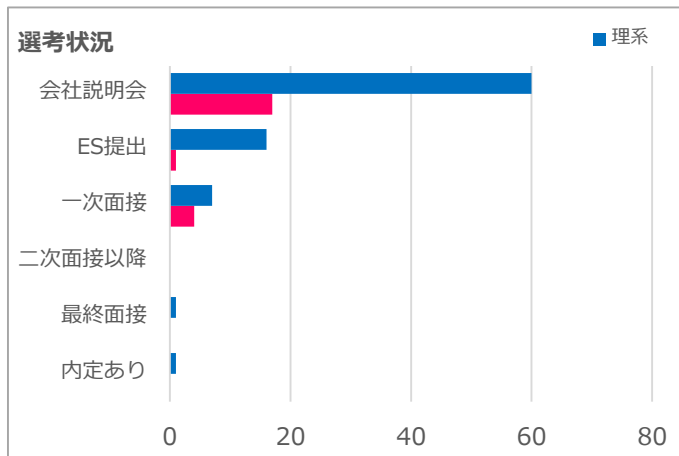
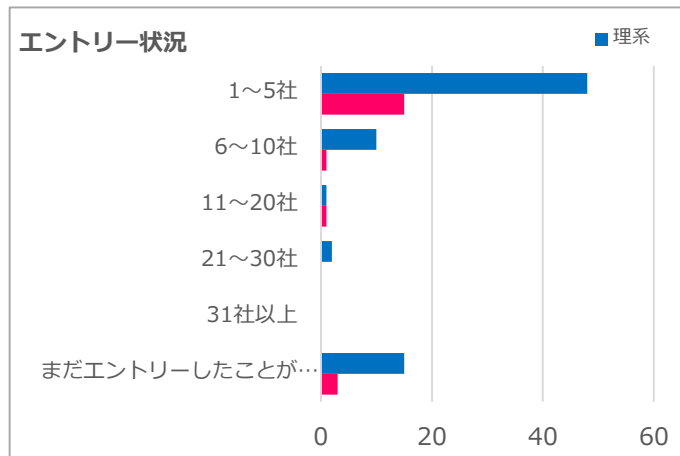
外国人留学生アンケート集計

- Q1. 興味のある業界について、当てはまるものに○印をお願いします。（複数回答可）
- Q2. 興味のある職種について、当てはまるものに○印をお願いします。（複数回答可）



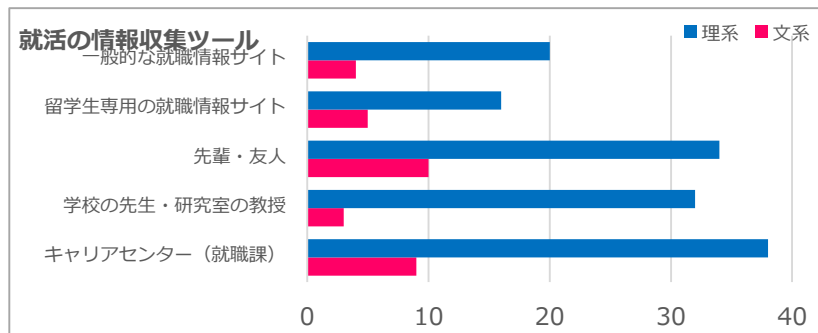
希望業種に関しては、日本人と大差ない結果といえる。また希望職種に関しては、理系は自分の専攻に直結するものを選択するが、文系で何名か「技術職」「研究職」を選択しているところから、まだまだ就職に対する理解の低さが伺える。

- Q3. 今までの本エントリー数（ES提出や説明会参加など）について、当てはまるものに○印をお願いします。
- Q4. 今一番進んでいる就活フェーズについて、当てはまるものに○印をお願いします。



エントリー社数は0~5社が大半を占め、選考フェーズも含め就職活動はようやく動き出したばかりの様子。なお、ここでエントリーが6社以上進んでいると回答した15名のうち、11名が中国籍であった。サンプル数は少ないものの、ASEANその他、非漢字圏の留学生は漢字圏に比べ動きが遅いことが見て取れる。

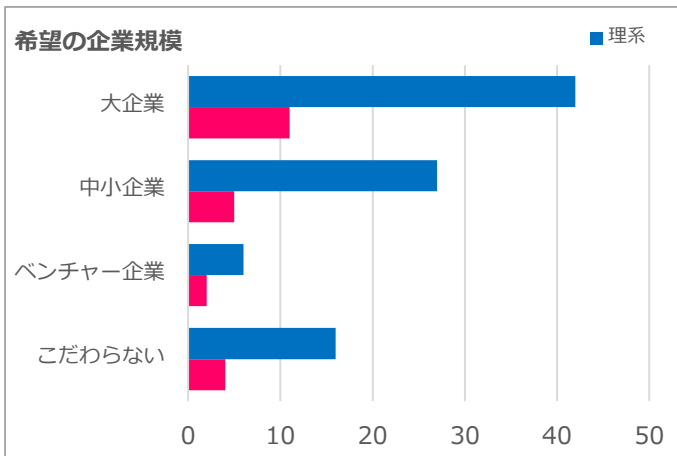
- Q5. 就活の情報収集や相談先について、当てはまるものに○印をお願いします。（複数回答可）



「先輩・友人」を選択した学生が多く、留学生採用においてコミュニティ内での口コミが非常に大きな影響力を持つことが伺える。特に非漢字圏の留学生では、ほかのツールを選択せず「先輩・友人」項目のみに○をつけているケースも多い。理系留学生は「学校の先生・研究室の教授」の割合が多く、教授との結びつきを示す結果になっている。逆に言えば文系学生（特に今回の対象である非漢字圏の学生）は学校という情報収集ツールを活用しきれていないと言える。

外国人留学生アンケート集計

- Q6. 興味のある企業規模について、当てはまるものに○印をお願いします。（複数回答可）
- Q7. 上記のQ6で回答した理由を記入してください。（自由記入）
- Q8. 大手と中小企業をどのように区別していますか？当てはまるものに○印をお願いします。（複数回答可）



【大企業】と回答した学生の回答理由

- ・安定している会社で継続的に働ければいいと思います
- ・福利厚生がいい。安定感 ・ボーナスが多いため
- ・大企業だったら安定、中小企業だったらより自由になると思います
- ・グローバル化が進んでいる。安全 ・安定して、需要人数が多い
- ・安定な年収がほしい ・成長できる環境が整っているから
- ・安定。母国にある会社はかなりある ・年収が良いから
- ・研修制度がいい、成長のスペースが広い ・いろいろ勉強できるため
- ・グローバル化した会社に入りたい ・自分がかつと貢献できるように

【中小企業】と回答した学生の回答理由

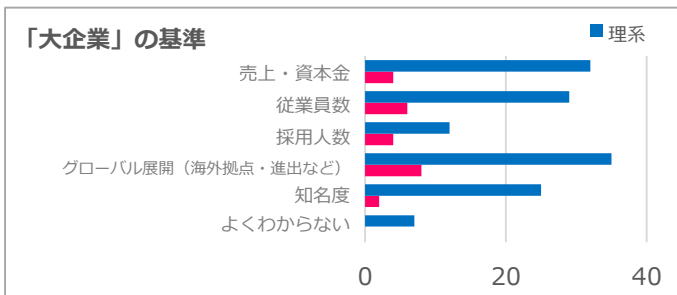
- ・競争が大手企業よりそんなに激しくないと思う

【ベンチャー企業】と回答した学生の回答理由

- ・成長の可能性が高いから

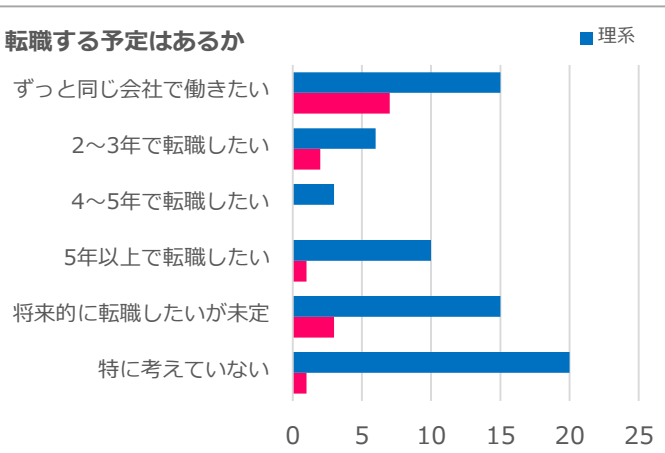
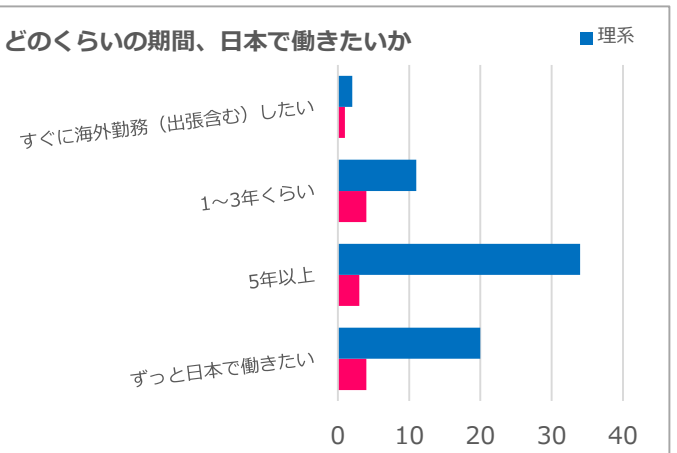
【こだわらない】と回答した学生の回答理由

- ・どこでもいろいろな経験を得られると思うから
- ・それぞれ利点、特徴があるから ・自分に合うところならどこでもいい
- ・企業の規模は関係なく、仕事の内容を重視しています
- ・やりたいことができればどの企業でも大丈夫
- ・会社の規模に関わらずいい会社に入りたいと思うから
- ・自分がやりたいと思った仕事なら、会社の大きさはこだわらない



ばらつきはあるものの、「大企業」を希望する理由としては「安定」「給与」「福利厚生」などの環境面が大きく、逆に中小やベンチャー企業では「成長」がキーワードとなっている。このことから、大企業は環境を一方向的に与えるものではなく、その対価としての競争や貢献、責任が重要になってくること、中小・ベンチャー企業では企業基盤の安定性や働きやすさ、福利厚生などを選考段階からきちんと説明することで、留学生の企業理解が深まると考えられる。また、留学生の考える大企業の基準においてグローバル展開が大きな比重を占めることから、企業規模に関わらず現地法人の有無や将来の海外展開のほか、海外売上比率や海外顧客数などを示して説明することで、入社意欲につながると見られる。

- Q9. 日本で何年働きたいですか？当てはまるものに○印をお願いします。



すぐに海外（現地法人など）での勤務を希望する学生は少なく、まずは数年日本で経験を積みたいというケースが大半である。ただし、いずれは母国に帰りたいという希望もあるため、長く働いてもらうためには将来を想像できるキャリアプランを提示することが必要。転職に関しては、まだ具体的に考えられていない学生がほとんどである。